人工地盤用 EXジョイント JX

施工・取扱説明書

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください。

この度は、弊社人工地盤用ＥＸジョイントをご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと商品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

⚠ 製品の取扱上の注意について

- **設計条件を超える荷重がかかる場所では使用しないでください。**
  本製品には設計荷重があります。設計条件を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を引き起こす恐れがあります。
- **取付・取外しは専門業者に依頼してください。**
  清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取付・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。
- **加工をしないでください。**
  切断、穴あけ、切削、変形、塗装などの加工を施さないでください。製品の強度の低下や、錆の発生の原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。
- **破損、変形した製品は使用しないでください。**
  何らかの原因で、破損や変形した製品は、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。
- **油などが付着した場合、すみやかに取り除いてください。**
  油などの滑りやすいものが製品の表面に付着すると、車両のスリップや歩行者の転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。すみやかに清掃を行い、油などを取り除いてください。
- **すき間に指を入れないでください。**
  カバーとカバーのすき間や、カバーと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどの怪我をする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。
- **持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。**
  重量の重い部材がございます。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。
- **取扱いには軍手や革手袋をご使用してください。**
  指のケガ及び骨折等の恐れがあります。取扱いの際は軍手や革手袋を必ずご使用してください。
- **外部からの強い衝撃を与えないでください。**
  搬入時など本製品に衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

⚠ 鋳鉄製品の維持管理上の注意について

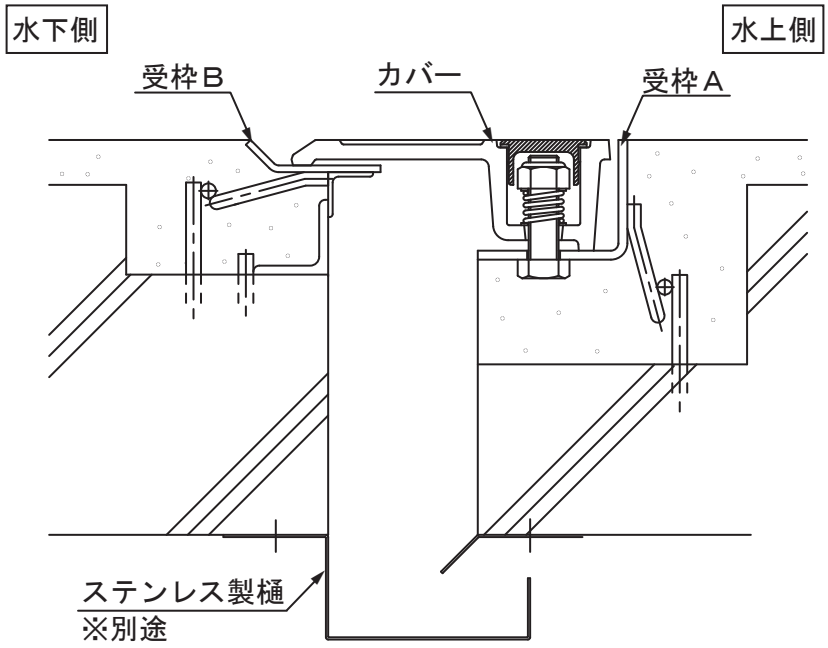
- **カバーが破損したり紛失した場合は、速やかに取替えまたは補充をしてください。転倒事故などによりケガ及び骨折のおそれがあります。特に地震など大きな変位があった後は、製品の破損状況やカバーなどが所定の位置に戻っているか確認し、安全な状況を確認してから通行してください。**
- **カバーを操作及び確認する場合は、周囲の安全確認を行ってください。**
- **カバーの表面がすり減った場合は、速やかに取替えてください。滑ってケガをするおそれがあります。**
- **鋳鉄製品の塗装は一次防錆塗装です。塗装面にキズがついたり、常に湿潤な状態では錆が発生し易くなりますので取扱いには、ご注意ください。錆が発生した場合は、清掃のうえ再塗装をしてください。**
- **枠に砂及び小石等が入るとガタツキやふたの飛び出しの原因となります。定期的に清掃してください。**
- **カバーの開閉時に手足をはさまれないようにご注意ください。**

カネソウ株式会社

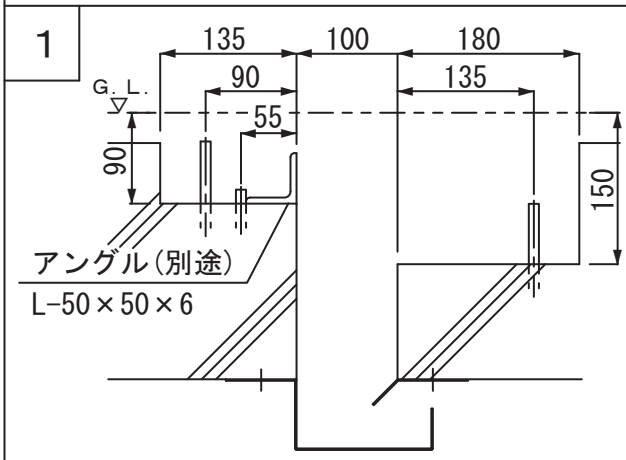
２６６－１Ｋ

ＪＸ－ＨＥ－２５　１００－５０施工手順

納まり図



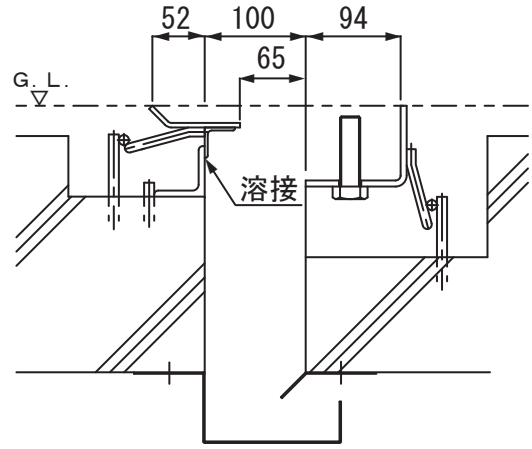
1



スラブをクリアランスの端部より受枠Ａ側を180㎜、受枠Ｂ側を135㎜、Ｇ．Ｌ．より受枠Ａ側を150㎜、受枠Ｂ側を90㎜の深さで切り欠いておきます。φ10㎜の丸棒を上図の寸法の位置に受枠Ａ側をピッチ450㎜、受枠Ｂ側をピッチ500㎜間隔でたてておきます。また、アングル（別途）を図のように丸棒と溶接します。

※止水が必要な場合は、別途止水設計に基づき、ステンレス製樋を取り付けてください。

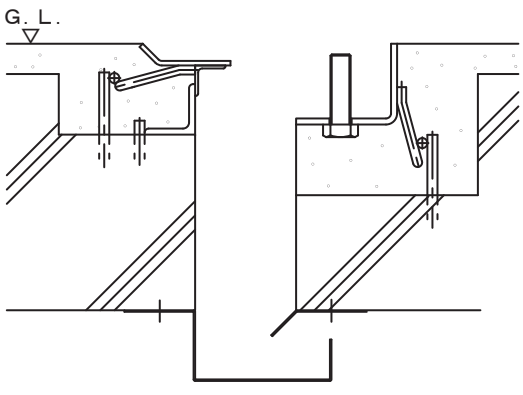
2



クリアランス端部より目地内寸法が受枠Ａ側が94㎜、受枠Ｂ側を52㎜になるようにそれぞれの受枠をセットし、受枠のアンカーを丸棒に溶接固定します。また、受枠Ｂの下部のアングルを手順１で取付けたアングルとピッチ500㎜で溶接してください。

※受枠ＡとＢの隙間は65㎜になります。

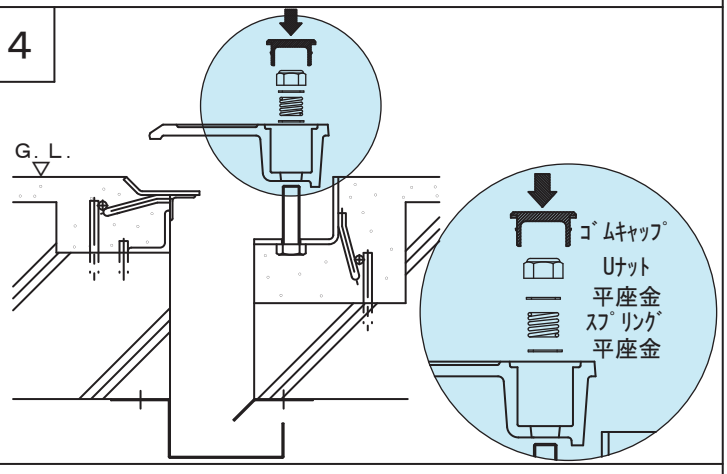
3



受枠のまわりにモルタルを充填します。

※ガタツキや破損などの原因になる可能があるためモルタルはきちんと充填してください。

4



カバーを受枠Ａにセットし、下から平座金、スプリング、平座金、Ｕナットの順番でカバーを固定し、最後にゴムキャップをかぶせます。Ｕナットはボルトのねじ山が２山程度出るところまで締め付けてください。Ｕナットの締め付けには付属のＴ形レンチ呼ビ３０をご使用ください。